

補足資料

パトホン PT-2060MS/MS1 取扱説明書 / 工事説明書に下記の通り誤記修正及び追記がありますので訂正してお読みください。

誤記修正 5 項

財団法人テレコムエンジニアリングセンターの認証番号を次のように修正します。

誤 認証番号 0 1 A Z B A 1 0 1 6 平成 1 4 年 1 2 月 5 日

正 認証番号 0 0 1 A Z B A 1 1 3 7 平成 2 0 年 9 月 1 2 日

誤記修正 2 4 項

4 - 1 . 自動発信 併設電話機を使用している場合の(3)を次のように修正します。

誤 (3) 設定電話番号にポーズが設定されている場合は、ポーズ時間を約 3.5 秒とします。
ただし、ダイヤルトーンを約 1.2 秒検知した場合、3.5 秒経過する前にポーズを終了します。

正 (3) 設定電話番号にポーズが設定されている場合は、ポーズ時間を約 2 秒とします。

補足 3 1 頁

7 . 上ケ - ス・カバ - の取り外し、取り付け方法

【取り付け】 で両端のネジ止めは、トルクドライバ (0.29N・m) を使用するか 3Kgf・cm 以下で行ってください。

誤記修正 3 8 頁

1 7 . データ設定 (* 9) 通報先グループの設定

通報先グループ 3,4,5 の機器情報

誤	正
()	()

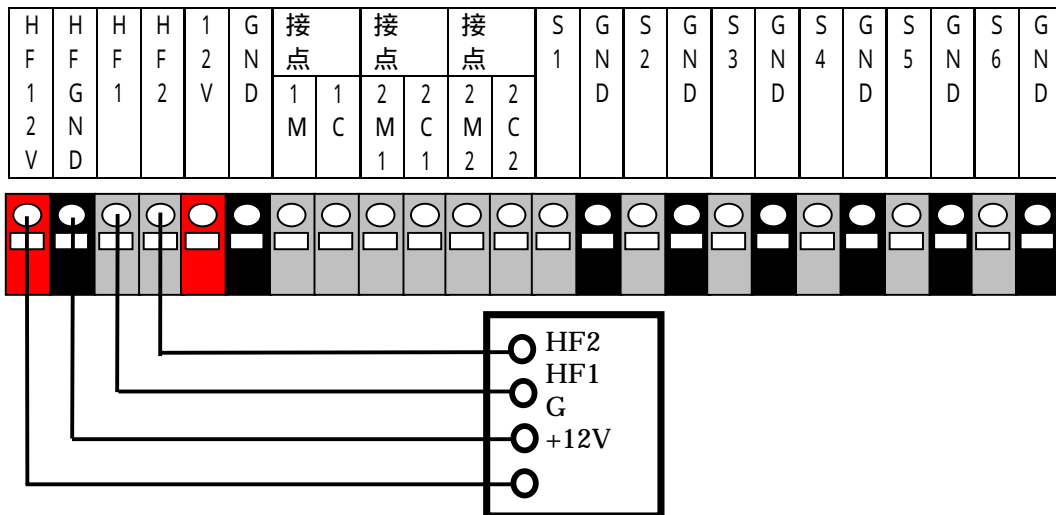
下記に正しい表を記します。

通報先グループ		1	2	3	4	5
起動種別						
各種 警報 監視 信号	「緊急」ボタン					()
	[S1] (押ボタン)					
	[S2] (火災)					()
	[S3] (ガス漏れ)	()	()	()	()	
	[S4]					
	[ライブ通報]					()
	[S5] (ペンダント)					
	[S6] (ペンダント電池切れ)					
機 器 情 報	[通報停止通報]					
	[定時通報]					
	[停電通報]	()	()	()	()	()
	[復電通報]					
	[不在通報] (監視開始)					
	[在宅通報] (監視解除)					

追記 1 ハンズフリーユニットの設定について

37 頁の設定項目 52 にハンズフリーの設定がありますが、ここでは緊急通報後のハンズフリー通話の設定を指します。相談ボタンやワンタッチ 1,2,3 ボタン（設定項目 43～46）でのハンズフリー通話のみの場合は設定項目 52 の設定は必要ありません（“0” で良い）。

追記 2 外付けハンズフリーユニットについて



PT-2060HF ユニット

外付けハンズフリーユニットに PT-2060HF を使用するときは上図の様に配線してください。緊急通報後のハンズフリー通話に外部ハンズフリーを設定するときはデータ設定で項目 52 を 2（本体内蔵 + 外付け）又は 3（外付けのみ）に設定してください。

データ設定で項目 52 を 2（本体内蔵 + 外付け）に設定した場合、緊急通報後のハンズフリー通話中に相手先から DTMF 信号 “0” を送出すると本体内蔵ハンズフリーに DTMF 信号 “1” を送出すると外付け内蔵ハンズフリーに切替えることができます。“0”、“1” 以外の DTMF 信号を送出した場合は何も動作しません。

追記 3 通報後の 2 分タイマについて

緊急通報終了後の 2 分間は呼び返し（通報先からの確認の電話）を受ける為、2 分間は通報が出来ないようにになっています。2 分の間にセンサを起動した場合は 2 分後に通報が行われます。

追記 4 設置工事終了後について

設置工事終了後、添付の電池交換ラベルを本体に貼付けします。貼付け場所は、保守管理が容易な場所を選定してください。

以上
YML001401